

2年

2年生の算数科では、テープ図の学習をしています。テープ図とは、数量関係をテープ状の図に表すものです。テープ図では、求めたい数が「全体」か「部分」によって、たし算になるかひき算になるかが変わります。子供たちは、テープ図を使って、何算になるか説明できるようになることを目標に一生懸命勉強に取り組んでいました。「『全体』と『部分』という言葉を使えば、分かりやすく説明することができるよ」「問題文を読むときに、『全体』の数から探すと問題が解きやすくなるよ」など、一人一人が問題の解き方や説明の仕方を考え、ノートに書いたり友達に伝えたりしていました。これまで学習してきた問題に比べると文章が複雑になり、問題を読み解き、図に表すことに苦戦している様子も見られましたが、繰り返し問題を解いたり、友達と教え合ったりしながら粘り強く学習に取り組んでいました。「テープ図の勉強をもっとやりたい!」「昨日より説明ができるようになった!」と、分かることに喜びや達成感を感じながら学ぶ姿がありました。



これからも、友達と学び合いながら、粘り強く活動に取り組んでいく姿を見守り、支援していきます。

3年

3年生の総合的な学習の時間では、一人一人が「なりたい自分」を目指し、マイタイムの時間も活用し、様々なことに取り組んでいます。活動の目標の決め方は人それぞれです。「もっと上手になりたい!」と得意なことに取り組む子供もいれば、「これが苦手だけど上手になりたいから今年これを頑張ろう!」と苦手なことに取り組む子供もいます。印象的だったのは、「苦手な縄跳びを跳べるようになりたい」という目標を立てた A さんの姿です。A さんは活動中に友達から跳び方を教わり、苦手感じていた種目も跳べるようになりました。さらに、その経験を活かし、今度は自分から友達に教える姿が見られるようになりました。苦労してできるようになった A さんだからこそ、友達に具体的で温かいアドバイスをすることができました。そして、教わった B さんも苦手種目を克服することができたのです。



最近では、クラス全体で縄跳びだけに限らず、いろいろな場面で教え合ったり、困っている友達を助けたりする姿がよく見られます。友達と協力しながら成長していく様子を、これからも楽しみに見守っていききたいと思います。

5年

1月16日(金)に、5年生の社会科の学習で、「ものづくり業」に興味をもってもらおうと、県内から5つの会社が来校し、特別授業をしてくださいました。あるクラスは、友達と協力して、レゴを決められた形に組み立てるグループワークを行いました。子供たちは、より早く決められた形を製作できるよう、役割を決め、具体的な指示になるように工夫しました。しかし、上手く組み立てられなかったグループが多く、感想を聞くと「相手に伝えることが難しい」「上手くいかなくて悔しい」などの声があがりました。企業の方からは、「相手への伝え方を工夫することが思いやりであり、仲間と一緒に仕事をする上で大切なことだ」と教えていただき、相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。



あと2か月で最高学年、今が大事な準備期間です。学校を支えていく学年として、誰に対しても思いやりの心を持ち、協力することの楽しさや達成感を味わえるよう、授業や活動を工夫していきたいです。